

あさくち

議会だより

No.
64

令和7年 **2025**
2月1日発行

トピックス

健康福祉センター低層棟改修



あさくち議会 🔍

Contents

- P2 12月定例会
- P5 委員会レポート
- P8 市政を問う！ 一般質問
- P15 令和6年度 議会報告会を開催



鴨中
サッカー部



鴨中
ソフトテニス部
男子



鴨中
卓球部女子



鴨中
陸上競技部

令和5年度一般会計 特別会計・企業会計

決算を認定!!

閉会中の継続審査となっていた令和5年度決算の認定議案9件については、各常任委員会（11月5日～7日）で慎重に審査し、すべて認定しました。

一般会計の実質収支額10億8,067万円のうち、5億5,000万円を財政調整基金へ繰入れています。

決算審査の質疑・意見（抜粋）

一般会計

Q 減つてきている原因は。

A 令和5年10月に制度改正があった。また、その直前に、中間管理事業者の変更があり、駆け込み需要に対応できなかつた。

Q 備南競艇事業の収益は。また、ここ数年の状況は。

A 令和5年度は207万4000円。増減してはいないが、最近5年間で言えば少しずつ増えている。

Q 部活動指導員配置事業補助は、民間委託に移行するための経費か。

A 地域移行とは別で、部活動の外部指導者を配置したときに支払う費用に対する補助金。令和5年度の実績は8名。

Q 三ツ山景観整備委託料で、松の木の修復はできたのか。



松の木の再生事業を行っている三ツ山

Q 植えたが一部枯れたものもある。複数年かけて再生を行っている。

A 商工会補助金を支出する目的と、会員減による金額の見直しは。

A 目的は、市内事業者育成と商工事業の発展であり、金額については検討する。

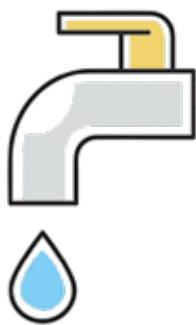
Q 1次産業特産品生産性向上支援事業補助金1500万円の効果は。

A 漁業協同組合に対しての補助で冷凍・冷蔵庫の増設。導入して間もないため成果は今後報告する。

水道企業会計

Q 水道の未納金とそのことに対する対応は。

A 令和5年の金額は約2500万円で、職員が電話や直接訪問による督促を行っている。



9億4,545万円

の増額補正予算を可決

一般会計の総額は184億3,372万円
(対前年同期比15.3%増)

議会が注目する事業



健康福祉センター1階低層棟改修事業

健康福祉センター1階低層棟の改修工事等を行う。

4億4,951万円



予防接種事業

子宮頸がんワクチン接種件数の増加等に対応するため、接種費用を追加で計上する。

3,615万円



西部衛生施設組合負担金

浅口市、笠岡市、井原市、矢掛町及び里庄町で運営する不燃物・粗大ごみ処理場、し尿処理場、廃棄物埋立処分施設等の負担金。

4,719万円



キラリと光る未来プロジェクト事業

小中学校児童・生徒の学力向上及び知・徳・体の調和のとれた更なる成長を目指し、主体的な学びの基盤づくり事業等を実施する。

1,079万円



寄島中学校跡地利活用補助金

寄島中学校跡地利活用の実施事業者である一般社団法人ファジアーノ岡山スポーツクラブに対し、施設整備に係る費用として企業版ふるさと寄附金を原資とした補助金を交付する。

1億3,000万円



各議員の判断はいかに!?

議案審議



参加議員

妹尾 齋藤 竹本 早苗 沖原 山下 石井 藤井 伊澤 佐藤 加藤 桑野 藤澤 香取 井上
 義信 貴士 寛 奈 有美 周吾 立子 誠 正人 淳二 和夫 良勝 邦男

※議長は採決に加わりません。

賛否が分かれた議案

条例	可決	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	賛成 井上、藤澤、加藤、佐藤、藤井、石井、山下、竹本、齋藤 反対 香取、桑野、沖原、早苗、妹尾
補正予算	原案可決	令和6年度一般会計補正予算(第5号)	修正案 賛成 香取、桑野、石井、沖原、竹本、妹尾 反対 井上、藤澤、加藤、佐藤、藤井、山下、早苗、齋藤 原案 賛成 井上、藤澤、加藤、佐藤、藤井、山下、早苗、齋藤 反対 香取、桑野、石井、沖原、竹本、妹尾
提案理由		健康福祉センター低層棟改修事業に伴う予算を削減する修正案(提出者 石井由紀子議員、桑野和夫議員)	
削減に賛成		石井由紀子 議員 健康福祉センターを子育て拠点にする計画は議論が不十分であり、さらに時間をかけて検討することが必要。	
削減に反対		妹尾 義信 議員 現状の計画の内容では不十分。現在の設計のまま工事が進むと、結果として施設や設備が使われないことが起こってしまう。 桑野 和夫 議員 アンケートや会議での議論が不十分である。また、就学前の子どもを対象としているが、小学生まで対象を広げるべき。 香取 良勝 議員 事業費が高額となっている。まずは新庁舎の建設をやるべき。	
削減に反対		齋藤 貴士 議員 公共施設の集約・連携・効率化はとても重要。また、避難所に指定されている健康福祉センターの非常用発電機の更新なども予算に入っている。 加藤 淳二 議員 これまでに委員会での説明や現地視察を行っている。一般質問においても質問が出ており、ある程度の説明は受けている。 早苗 奈奈 議員 現在のつどいの広場は災害に対応できていないため、今回の改修事業でつどいの広場を移転する案には賛成。	
陳情	採択	新型コロナウイルスワクチン定期接種の対象範囲拡充と貴市独自の費用負担軽減に関する陳情書	賛成 井上、香取、藤澤、桑野、加藤、佐藤、石井、山下、沖原、竹本、齋藤、妹尾 反対 藤井、早苗
陳情	不採択	浅口市に弁護士資格をもった職員を雇用することを求める陳情書	賛成 井上、桑野、佐藤 反対 香取、藤澤、加藤、藤井、石井、山下、沖原、早苗、竹本、齋藤、妹尾

参加者全員が賛成した議案

認定	令和5年度一般会計歳入歳出決算 令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算 令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算 令和5年度畑地かんがい給水事業特別会計歳入歳出決算 令和5年度益坂財産区特別会計歳入歳出決算 令和5年度工業団地開発事業特別会計歳入歳出決算 令和5年度水道事業会計剰余金の処分及び決算 令和5年度下水道事業会計決算	補正予算	令和6年度畑地かんがい給水事業特別会計補正予算(第1号) 令和6年度水道事業会計補正予算(第2号) 令和6年度下水道事業会計補正予算(第2号) 令和6年度一般会計補正予算(第6号) 令和6年度介護保険特別会計補正予算(第3号) 令和6年度水道事業会計補正予算(第3号) 令和6年度下水道事業会計補正予算(第3号)
承認	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定) 専決処分した事件の承認(令和6年度一般会計補正予算(第4号))	その他	岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び組合規約の変更 備南競艇事業組合規約の変更 工事請負契約の変更(2件)
条例	心身障害者医療費給付条例の一部改正 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	請願	子育て支援の充実に関する請願
補正予算	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	陳情	人工透析患者交通費助成事業に関する陳情 浅口市心身障害者医療費公費負担制度に関する陳情 「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について

子育て支援の充実に関する請願



石井由紀子 議員

少子高齢化の対策として自治体に求められるのは、子どもを産み育てたいと思える環境づくりに努めること。近年、共働き家庭が増え、さまざまな働き方がある中、仕事との両立を図るため、突発的な事態が起きた時に対応できる保育サービスのさらなる充実をお願いしたい。

参加者全員が反対した議案

浅口市が加入している備南競艇事業組合からの脱会を求めることに関する陳情書

定例会

委員会レポート

委員会レポート

令和6年度
議会報告会を開催



寄島中学校跡地の利活用に補助金

企業版ふるさと納税を活用

総務文教

委員長	齋藤 貴士
副委員長	桑野 和夫
委員	伊澤 誠
	佐藤 正人
	加藤 淳二



人工芝グラウンド施設整備の様子

寄島中学校の跡地利活用の実施業者である一般社団法人フアジャーノ岡山スポーツクラブに対して、人工芝グラウンド等の施設整備に係る費用として企業版ふるさと寄附金を原資とした補助金1億3000万円を交付。

Q 整備工事の進捗状況は。

A 予定通り、2月末の完成を目指して工事を進めている。

部活動地域移行に向けて協議

令和6年度より、部活動地域移行検討委員会というものを組織し協議を進めている。国の方針として8年度より土日の部活動の地域クラブ化をするということが示されている。市では6年11月より試験的に、女子バレーボール・陸上競技・女子ソフトテニス・水泳の部活動において地域クラブ化を想定した取組を部分的に始めている。

Q 4つの部活動について、指導者はどうやって決めているのか。

A 公募や学校関係者からの意見を参考にして決めている。

Q 野球部は市内3中学校で合同と聞いているが、それ以外はあるのか。

A 陸上競技と剣道が合同で実施している。

子育て支援の充実に関する請願（全員賛成で採択）

「請願の趣旨」

子どもは未来の希望であり、その成長を支えるためには家庭のみならず、保護者の就労を基本にして、地域社会全体で子育てを支援する環境が不可欠である。

地方自治体においては、子育て支援の環境の充実を図られてはいるが、地域によって保育サービスに格差が生じている。そのため、全国で継続的に休日保育や、病児・病後児保育

などの保育サービスが提供できるよう、財源の確保を国や県に求めるもの。
(12月12日開催)

行政視察について

・愛媛県宇和島市(11月11日)
さまざまな分野をひとつのアプリに集約した情報発信「伊達なうわじまホッとナビ」を視察。人口の約半数にあたる数のインストール数があり、特に防災は緊急時の危機管理の意識が感じられ、浅口市においても取り入れたい部分が多くあった。

・香川県高松市(11月12日)
「スマートシティたかまつ」の取組みを視察。防災分野は、水位・潮位センサーに加え、カメラ(静止画)画像による状況把握もできるようなっており、災害リスクが見える防災アプリとなっていた。

福祉センター低層棟改修について

より利便性の良いものを求める

民生

委員長	沖原 有美
副委員長	妹尾 義信
委員	早苗 ネネ
	藤井 立子
	井上 邦男



※画像はイメージです

健康福祉センター低層棟の改修は、子どもと保護者が相互に交流を行い、子育てについての相談や情報の提供などを目的としている。

Q 今、決まっていることは。

A

子育てに関する施設として改修し、スペースを3つの年齢層に分けることと、つぎの広場「のびっこ」を移転すること。

Q

基本的にはこれまでの運営の流れと変わらないが、細かい点についてはこれから検討していく。

A

複数の年齢の子どもを抱えているお母さんが子どもの相談をしたい時は、相談業務については相談スペースを設けており、親子で入ることができる。また、健康福祉センター内の事務所でも相談することができ。

Q

工事費用に駐車場整備も含まれているが、来場者が優先的に使っているのか。

A

1区画あたり、通常の駐車スペースより広く作る予定としているが、優先利用は予定していない。

Q

費用縮小できないか。

A

今は予算の段階なので、引き続き検討した上で発注したい。

行政視察について

- ・福岡県福岡市（10月23日）
- ・子どもアドボカシー推進事業について

この事業は、子どもが自分の意見を表明し、権利を擁護するための支援を行うもの。児童養護施設、里親家庭、一時保護所などの子どもに対し、NPO法人と連携して意見形成を支援し、必要に応じて関係機関へ意見を伝えるなどの説明を受けた。

パッカー車の火災について

被害状況は。

A

ガス缶が原因と思われる事故が、立て続けに2件あった。人的被害はなかったが、パッカー車に被害があった。

Q

今後、ガス缶だけ個別に収集するなど、収集方法を工夫してみたい。

A

収集方法や注意喚起の効果的な広報を検討していきたい。
(12月13日開催)

・福岡県筑後市（10月24日）
・リユース事業「おいくら」について
「おいくら」は、市民が家具や家電製品などの不用品を登録することで、加盟事業者に一括査定され、査定結果を比較して売却できるリユースプラットフォーム。運搬が困難な市民にとっても利便性が高く、運営に係る市の費用負担がほとんどない事業であるとの説明を受けた。



筑後市リユース事業「おいくら」の説明

下水道事業の経営について

〜経営健全化に向けて〜

産業建設

委員長 竹本 寛
副委員長 山下 周吾
委員 石井由紀子
藤澤 健
香取 良勝

令和4年度決算から純損失を計上することとなり、一般会計からの繰り入れに頼る厳しい財政運営となっている。こうした状況下において、経営健全化等に取組み、安定的な事業運営とサービスの提供を継続するため、2年度に策定した浅口市下水道事業経営戦略に基づき、中長期的な視点で事業運営を行っている。

今後は適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要となっており、投資の効率化や維持管理費の縮減、水洗化率の向上によって有収水量を増加させる等のさらなる経営改善が求められている。

倉敷市の水道料金改定に伴う分水契約の変更について

倉敷市では令和6年6月に倉敷市水道事業経営審議会から水道料金の平均改定率20・82%の引き上げが必要との答申がなされた。これを受けて倉敷市では7年1月から料金が改

定されることとなったが、この改定に伴い、6年11月に浅口市が締結している分水契約の内容を変更した。

分水料金の改定は段階的に行われ、税抜きで7年は10%増の150円、8年以降は20・82%増の164円になる。この変更で7年2月、3月の受水費に影響があるが、現在の予算の範囲内で対応し、補正は行わないように考えている。7年度の予算については今までの実績水量で試算した約2460万円増を見込んだ予算編成を行いたい。

道路管理について

5月発行の議会だよりに掲載した道路管理に関して、地方譲与税という国からの一定の助成があるが、財源は足りているのか。

A

地方揮発油譲与税と呼ばれるものがあり、以前は道路整備の特定財源とされていたが、現在は一般財源化されている。

Q

行政視察について
高知県梼原町（10月22日）
空き家の活用について
梼原町では空き家の改修・サブリースを国や県の補助事業を活用して町が行い、移住定住者向けに低価格で提供しており、空き家所有者にとっても、負担なしでリフォームや耐震化を行なえる等のメリットがある。

Q

令和5年度決算で、地方揮発油譲与税は3000万円強。道路の整備や管理に係る経費が約4億1500万円となっている。3年度の民法改正により、樹木の枝が越境した時、催告しても応じない場合は、枝を切除し、費用を請求できることになっているが、実績はあるか。

A

催告しても応じない場合や、急ぐ場合に、所定の手続きを踏んだ上で、木を切ったことはある。（12月16日開催）

一方で移住希望者に対する相談等をコーディネートする1名で担当しており、個人の能力に依存していることが課題となっているとの説明を受けた。

徳島県海部郡（10月23日）
「ぎゅうりタウン構想」について

農業の担い手不足の解消、特産品の開発や販路拡大等の取組の調査として視察した「ぎゅうりタウン構想」は、近年の少子高齢化により、農家が減少していたため、県やJAをはじめ、海部3町で立ち上げた。若い就農希望者に対して農地やハウスの建設等の支援を行い、ベテラン農家から栽培についてのノウハウを学び、その地域に移住するという取組であるとの説明を受けた。





市政を問う！

一般質問

録画放送
配信中



定例会

委員会レポート

市政を問う！
一般質問

令和6年度
議会報告会を開催

12月定例会では、12人の議員が市の考えを聞きました。

質問者	質問項目
香取 良勝	○税金の無駄について再度聞く ○残土の譲渡等について
竹本 寛	○浅口市の障がい者就労支援について尋ねる ○浅口市の高齢化進行にともなう福祉施策について尋ねる
佐藤 正人	○津波浸水想定表示板と海拔表示板について ○指定避難所における防犯ブザーの備蓄について ○学校図書館における子どもたちの読書環境について
桑野 和夫	○浅口市内の公立小中学校の教職員の処遇改善について ○健康福祉センターの改修（低層棟有効活用）について
加藤 淳二	○開示請求について ○カスタマーハラスメントの防止について
山下 周吾	○浅口市の公共施設について（防災・熱中症対策を含めて）
沖原 有美	○有害鳥獣被害対策について ○公共施設の管理について ○西南水道企業団からの水道供給について
斎藤 貴士	○健康福祉センターの有効活用について
妹尾 義信	○市内の公園管理及び学校の遊具・運動場について
藤井 立子	○少子化対策 ○女性の人口流出に対する対策 ○浅口市の男女格差の解消の取組 ○浅口市の職員・教員のメンタルヘルス（心の健康）
早苗 ネネ	○丸山公園の現状と持続可能な活用について
石井由紀子	○浅口市職員の働き方改革の取組について ○保育園、こども園、学童保育事業について



香取 良勝



税金の無駄について再度聞く

問 栗山市長就任以来の水道料の滞納はいくらか。

上下水 平成22年度から令和6年11月末までの間で滞納額は現在約1959万円。

問 支払っていない市民がいると聞くが対応は。

上下水 督促状や催告書を送付したり、電話連絡や臨戸訪問したりしている。やむを得ず給水停止等を行うこともある。

問 5年経つと時効で支払わなくてよいと聞くがどうか。また、そうなった場合はどうするのか。

上下水 令和2年4月1日以降に給水契約をしたものの時効は5年。水道料金は私債権であり時効の援用が必要。時効の期間が経過したこのみをもって不納欠損という処理は現在行っていない。

問 滞納者への裁判はしないのか。

上下水 滞納者にも諸事情があり、裁判を行うことは限られる。ただし、必要に応じて裁判以外の法的措置は実施している。

残土の譲渡等について

問 工業団地A地区開発工事で関係企業へ譲渡した残土の量と金額は。

産建 3件の民間宅地事業に合計で約1万5000立方メートルの残土を搬出。金額は市が販売する行為を行っていないため換算はできない。

問 残土が欲しい業者が他にもあったが出さなかった理由は。

産建 要項に基づき公募し、要件を満たした民間宅地事業者に残土を搬出した。

問 里庄町の県西部衛生施設組合新ごみ焼却施設運営工事で、関係企業からの便宜供与等が疑われる行為はないか。

市長 この新焼却ごみ施設のトップの管理者は笠岡市長であり、その他の2市2町の市長、町長は副管理者となっており、副管理者である私がひとりで物事を決定できる権限はひとつもない。



竹本 寛



浅口市の障がい者就労支援について尋ねる

問 現在の市としての取組は。

健福 就労継続支援等の利用促進や障がい者相談支援センター「はれくる」等と連携しながら包括的な支援を行っている。市独自のサービスとして、対象事業所へ通所する1日3時間以上の作業者に対し、1日あたり200円を就労奨励金として交付している。

問 他市のような交通費助成や障がいのある方を対象とした就職フェアを開催できないか。

健福 交通費助成は現時点では実施していないが、研究の必要性があると認識している。情報収集を行い、目的や効果を確認していく。現在行っている就職フェアは障がいを持った方も含めたものである。これらの取組を積極的に周知するとともに企業への参加も呼び掛けたい。

問 障がい者の就労域の可能性を見出すべく、就労支援事業所の新たな事業内容や受入先の拡大を推進することで障がい者就労の支援充実に繋がるものと考えている。今後の取組は。

市長 就労支援は地域で自立した生活を送るための柱の一つだと認識している。関係団体と連携しながら自立と社会参加が実現できるまちづくりを進めたい。

浅口市の高齢化進行にともなう福祉施策について尋ねる

問 高齢者施策においてはデジタル技術の活用や民間事業者のサービスとの関係、地域コミュニティとの関わり方の視点が求められる。市にとって最適な取組は。

健福 QRコードを用いた安心見守りシールや民間事業者と連携しての低栄養改善のための給食サービス等をはじめ、地域の皆様の共助に向けた取組を支援している。

市長 各課が協力して知恵を出し合いながら対応していかねければならないと考えている。

「QRコード」は株式会社サンソーウェブの登録商標です。



佐藤 正人



津波浸水想定表示板と海抜表示板について

問 設置して10年以上が経過している。市内の浸水の状況等を鑑みて、地域に適した表示にはどうか。

市長 表示板と合わせて防災行政無線や防災行政ナビ、メール、LINE、ホームページなど情報伝達手段の多重化、多様化に取り組んでいる。

指定避難所における防犯ブザーの備蓄について

問 犯罪防止の観点から防犯ブザーを備蓄し、希望者へ貸し出しはどうか。

市長 避難所は多くの人が集まり、盗難や性被害などのトラブルが発生するリスクがある。防犯ブザーは、犯罪防止と加害者の行動を抑止する効果もあり、避難所に備えておけば、被災者がより快適に過ごせる環境を

整えることができるため、前向きに取り組みたい。

学校図書館における子どもたちの読書環境について

問 市の小・中学生の読書実態はどうか。

教育次 令和5年度は、小・中学生の一人当たりの1年間の学校図書館の貸出冊数は40・3冊。小学生は多くの子どもが読書に親しんでいるが、中学生になると減る傾向が見られる。

問 子どもたちの中には、もっと図書室を利用したいという声も聞かすが、開館時間や新刊の購入状況は。

教育次 小・中学校ともにお昼休みは毎日開いているが、それ以外では司書がいる日に開いている。図書購入は子どもの人数に合わせて計画的に購入している。

教育長 主に子どもたちの要望を聞くこととし、図書室に置いてほしい本のアンケートやお薦めの本をカウンター前に並べたり、校内放送で紹介するなどしている。今後もより良い図書館環境に努め、読書への関心を高めていきたい。



桑野 和夫



浅口市内の公立小中学校の教職員の処遇改善について

問 教員不足が深刻化している。国の取組に対する市としての見解は。

教育長 今後、教職員の処遇改善に関する国の取組に期待している。

教職員の勤務実態は。

教育次 令和5年度の時間外在職平均時間は、小学校で月40・2時間、中学校で月42・5時間。

問 支援員を増員するなど、市としてできる方策は。

教育長 現在行っている生活支援員の配置などは継続する。県などからの調査等で、教育委員会のできるものは対応していく。教職員が職務に専念でき、子どもたちにとってより良い学習環境をつくりたい。

健康福祉センターの改修（低層棟有効活用）について

問 改修費が総額で約4億5000万であるが、計画と費用の概要は。

健福 つどいの広場「のびっこ」を移転し、年齢で分けた3つの部屋や駐車場などを整備する。費用は、低層棟の改修だけでなく、既存施設の撤去や健康福祉センター全体の非常用発電設備などにかかるもの。

問 構造上、壁を取り除けない、屋根を作れないということが分かったときに他の場所を考えたか。

副市長 選択肢としてはあるが、今あるスペースをいかに有効活用するかを基本にしている。

問 年齢ごとに3つの部屋に分けたのはなぜか。

健福 つどいの広場の利用者などからの意見があった。

問 子どもたちが集える施設は必要だが、計画の中身や策定の経過、事業費に疑問がある。

市長 子育てしやすい環境づくりは重要な取組の一つ。早急に進める必要がある。改善により市の地域子育て支援拠点施設が整備され、これまで以上に子育てしやすい街として喜んでいただけることを確信している。



加藤 淳二



開示請求について

問 過去の件数は。

企財 令和5年度は147件。そのうち、全部開示が39件、部分開示が71件、不開示が30件、却下が2件、取り下げが5件。4年度は140件。そのうち、全部開示が36件、部分開示が77件、不開示が22件、取り下げが5件。

問 開示請求権の本来の目的を著しく逸脱した開示請求は権利の濫用に当たる。市の状況は。

企財 開示請求の件数については、同規模の他の自治体と比較すると多いように思われる。説明責任等の観点から重要な制度であると考えており、適切に対応していく必要がある。職員への攻撃や恫喝を目的として開示請求が行われたわけではないので、情報公開請求権の濫用的な行使には該当しないと考えている。

カスタマーハラスメントの防止について

問 市職員への暴力や長時間の居座り、長電話などの迷惑行為があるか。ある場合は、その件数を把握しているか。

企財 要求の内容が著しく妥当性を欠くものなどにより、職員の就業環境が害されるものがカスタマーハラスメントであると捉えている。窓口である総務課には、職員からハラスメントに関する相談は現時点ではない。

問 市職員のハラスメント防止等について、制定後に相談や苦情はあったか。

企財 条例を制定した6月から現在までの間、ハラスメントに関する相談や苦情の申出はない。

問 カスタハラ防止の条例制定の考えはあるか。

市長 市としては、法整備に向けた国の動向、また他自治体の動向も注視しつつ、条例制定も視野に入れた適切な対応を検討していく。



山下 周吾



浅口市の公共施設について

問 撤去を行う予定があるものはいつ行うのか。

企財 金光総合支所分庁舎は令和6年度中での撤去を進めている。また、鴨方地域の小学校にある旧学校給食調理場と旧寄島学校給食センターについては、6年度で設計を終了し、7年度での撤去を予定している。

問 災害対応型LPガスバルクなどを用いて空調や災害に対する機能強化をしようか。

企財 災害時については、物資の提供等で各団体と協定を結んでいる。また、設置費や維持管理費に多額の費用が必要になると思われるため、研究はしてみたいが、今すぐ導入は困難である。

問 福祉施設や文化的な施設など、たくさんの方が利用する公共施設について、市内に適切

に配置していく計画を考えるといくべきでは。

企財 市民の健康や福祉の向上、地域コミュニティの重要な拠点となっていることから、長寿命化を図っている。現在の施設の配置は適切であると考えており、施設の建て替えなど大規模改修が必要になった際には、ニーズや利用状況等を勘案し、その都度、適正規模・配置になるように検討していきたい。

問 施設の内容を考える従来の部署とは別に、予算を含めた新しい施設の設計や整備、管理を行う部署を新設してはどうか。

企財 現在、施設整備については、施設管理担当部署と専門的な知識を持つ建設課の建築担当が連携して行っている。施設運営全般については、財政課において包括的に取組んでおり、部署を新設する予定はない。

市長 新設した課にいろいろなものを集めるということは、現実問題として難しい。何かをする時には、一緒になって相談しやすめていくのが、今の時点ではベストであると思っています。



沖原 有美



有害鳥獣被害対策について

問 市で被害が確認された有害鳥獣の種類と被害内容は。

産建 令和6年11月末時点で、イノシシ、タヌキ、ヌートリア、カラス、アナグマの5種類で、被害を受けた農作物は主にモモ、芋類、稲。

問 市は今後、猟友会の担い手の育成にどのように取組んでいくのか。

産建 新たに狩猟免許を取得する人に、取得費の補助を行っている。6年度は、わなセンサの導入を進めており、猟友会員の見回りの負担軽減も進めている。今後も、担い手確保に向けた対策を進めていきたい。

公共施設の管理について

問 各公民館の冷暖房料はなぜ使用料と同額なのか。1時間ごとの料金設定については。

教育次 旧3町で設定されているものを引き継いでいる状況となっている。1時間ごとにした場合、設定料金や利用する時間によっては今より増える可能性も出てくるため、今後、慎重に考えていく必要がある。

西南水道企業団からの水道供給について

問 一部事務組合において、金光町も入れた供給について協議を開始したいと申し入れた経緯は。

上水 令和5年3月議会で、金光地区を含む市全体の将来の最適な水運用を検討していること、その検討をもって関係団体と協議を進めたいと答えたため、5年12月に西南水道企業団に浅口市への用水供給に係る協議を依頼した。

問 金光町に供給するための管の施設整備や水利権の譲渡など、市の負担はどれくらいか。また、水道料金はどうなるのか。

上水 令和6年11月に西南水道企業団から関係市町での協議を依頼する通知があり、今後、協議を重ねる中で整理していきたい。



齋藤 貴士



健康福祉センターの有効活用について

問 これまでの経緯と現状は。

健福 令和5年11月に市民アンケート等を行い意見を伺ってきた。その結果を参考に、親子が交流できる場や市民の皆さんが涼み処として利用でき、有事の際には避難所としても利用できる場所とした。

問 改修後の施設の対象者や目的、効果は。

健福 利用者の年齢やニーズに応じて、安全かつ快適に過ごせることができる環境が整備される予定。福祉サービスなどワンストップで提供することができ、利便性が図られる。

問 財源や維持管理費は。

健福 有利な起債や基金を活用する予定で一般財源の充当はない。維持管理費については、国や県からの補助があり一般財源の持ち出しは200万円

弱。財政運営への影響は少ない。
問 完成予定が令和7年7月を目指しているようだが間に合うのか。

健福 補正予算の議決後、入札・契約を行い、工事完了は7年7月の見込みである。近年の地震や台風、大雨といった自然災害の発生頻度の増加を踏まえ、子どもたちが利用する施設には耐震性や安全性が求められる。熱中症を災害として捉え、クーリングシエルト（涼み処）としても利用できるよう、子どもたちが健やかに成長できる環境を一刻も早く整えることが急務である。

市長 共働き家族の増加や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化している。子育て中の親の孤独や孤立などの不安等に対応するためにも、交流を促進する地域子育て支援拠点の充実を推進することは重要である。この改修工事により浅口市が子育て王国としてより一層子育てしやすい街になると確信している。これからも子どもたちの健やかな育ちを支援していきたい。



妹尾 義信



市内の公園管理及び学校の遊具・運動場について

問 市内の公園の遊具の安全点検の頻度は。

産建 年に1回遊具の点検講習会を受講した者へ委託し実施している。また、職員による日常的な目視点検も行っている。

問 過去10年の修繕の実績は。

産建 天草公園の遊具で、劣化部品等の交換・補修が7件、塗装が3件、溶接補強等が2件。三ツ山スポーツ公園の遊具で、劣化部品の交換・補修が8件、部分撤去が1件。その他の公園で、滑り台のさびの修繕やブラコンコの座板の取替え等の修繕を45件行っている。

問 三ツ山スポーツ公園内の川などの付随施設の安全管理は。

産建 さまざまな水生生物や植物の鑑賞施設であり、水に親しめるスペースでもある。このため、立ち入り禁止区域の設定は

行っていない。

一方で、水草の繁茂等がれば定期的な撤去は行っている。季節によっては追いつかないこともあるので、利用にあたってはご留意いただきたい。

問 川や水路などの施設において、水質の危険性の認識は。

産建 丸山公園の池は水深もあるので立ち入りの制限をしている。三ツ山スポーツ公園の水路に関しては測定をしていない。

問 学校遊具の安全点検の頻度は。

教育次 業者による専門的な点検は年1回。教職員による目視や動作確認は定期的に行っている。

問 過去10年の修繕実績は。

教育次 市内10校において、小学校の遊具を中心に溶接補強を20件、部品交換を15件など、合計で56件行った。

問 学校のグラウンドの溝の解消をしていく考えは。

教育次 大規模な改修は計画しておらず、真砂土等の補充で対応したい。



藤井 立子



浅口市の男女格差（ジェンダーギャップ）解消の取組

問 企業などへの呼びかけは。

企財 令和4年4月、労働者数101人以上の事業主に対し、改正女性活躍推進法が成立した。行動計画を策定し労働局に届け出、外部に公表して優良と認定を受けたら、女性の活躍が進んでいる企業として商品や求人票などに認定マークを付することができると。この制度の周知が十分とは言えない。機会を捉えて周知、啓発していく。

問 政府は賃金格差・管理職比率公表義務付けを考えている。

企財 市においても、賃金格差公表を義務付けられており、男女の比較についてホームページで公表している。

浅口市職員・教員のメンタルヘルス（心の健康）

問 心の病で休んだ人の直近5

年の人数は。

企財 令和2年度5人、3年度7人、4年度8人、5年度11人、6年度12月1日現在14人。

問 市にカウンセリング機能と早期発見の対策はあるか。

企財 平成28年度から毎年度ストレスチェックを実施。長時間労働の職員には疲労蓄積度自己診断チェック及び産業医による面談指導の案内を行っている。職員研修も毎年実施。新規採用職員には先輩職員による面談制度を導入。令和2年度から、全職員を対象に産業カウンセラーによるカウンセリングを毎月実施している。

問 令和6年6月に「浅口市職員のハラスメントの防止等に関する条例」が制定された。相談を受けた時の対応は。

企財 総務課ハラスメント相談窓口の相談員が双方から事実関係を聴取、浅口市ハラスメント対策委員会で事案の審議、認定を行う。状況に応じて指導や職場環境の改善、再発防止策の検討等を行う。加害者や管理監督者が懲戒処分の対象となる場合は、浅口市分限懲戒審査会を開催し、処分内容が審議される。



早苗 ネネ



丸山公園の現状と持続可能な活用について

問 こいのぼりの設置期間は。

産建 開始が平成8年。終了が31年と記録がある。

問 市ができた当時の状況は。

産建 市が発足した平成18年も掲揚は行っている。

問 こいのぼりを市民からいただいたと聞くが。

産建 当時の金光町商工会が町民に提供を呼びかけ、観光協会等で掲揚していたが、合併後は産業建設課が掲揚していた。

問 設置が中止になった経緯と現在の保管状況は。

産建 掲揚するポールが2本あり西側のポールが湾曲。安全性も含め検討の結果中止した。現在、丸山公園の管理棟倉庫の中には、26匹のこいのぼりが保管されている。保存状態は個々に異なるが相当老朽化が進んでいるものもある。

問 ポール再利用の可能性は。

産建 片側の一本が大きく湾曲しているため、そのままの利用は不可能。

問 土砂災害などの安全面は。

産建 線状降水帯によるゲリラ豪雨に対して、公園の中核的施設である幸水池からの水が流出した際に、下流域の住民の方々が避難できるようなハザードマップを、令和3年度に作成、公表している。

問 もう一度こいのぼりを揚げられないか。

産建 市が主体となった掲揚は考えていないが、地域が主体となったイベントでの開催の意向があれば相談いただきたい。

問 今後の丸山公園の在り方について市の見解は。

市長 先般、丸山公園に向き現地の確認をした。公園道路沿いの桜並木は市民の憩いの場として親しめるよう引き続き環境整備に努めるが、老朽化が進み、危険な箇所は安全のため、撤去も視野に入れた整備が必要だと思っている。ただし、厳しい財政状況を鑑み大規模な修繕や広範な管理は控えるという考えも持っている。

浅口市職員の働き方改革の取組について



石井由紀子



問 令和5年度と6年度の正規職員、会計年度任用職員の数と比率は。

企財 4月1日付の正規職員は5年278人。6年285人。会計年度任用職員は5年286人。6年294人。全体に占める会計年度任用職員の比率は5年50・7%。6年50・8%。

問 令和6年度の休職者と中途退職者の数は。

企財 12月1日現在、育児休業7人。病気休職4人。中途退職4人。

問 市の職員数に余裕があると思えない。市民のニーズに 대응する職員の働き方も考える中、市はどう取組んでいくのか。

市長 職員一人一人が能力を最大限に発揮し、市民に質の高いサービスを提供し続けるため働き方改革を推進している。基

本的な考えは、浅口市特定事業主行動計画に基づき、ワーク・ライフ・バランスの実現を図っている。しっかりと職員の実証に基づいた任用を行う。

保育園、こども園、学童保育事業について

問 令和6年度の待機児童の数は。

教育次 12月1日現在、園の待機児童1人。保留児童47人。学童保育の待機児童23人。

問 待機児童解消への見通しは。

教育次 幼児教育無償化による保育事業の増加、延長保育の利用者が増えたことで、令和5年度より希望するすべての児童の受入れが困難な状況。取組として保育士の確保が課題。児童クラブについては、学校の余裕教室の活用や施設整備を行うなど受皿を確保してきた。支援員の募集は、運営事業者と連携をとり行っている。

問 保育事業が現状希望に添えないことを今後どう考えていくのか。

教育次 子育て世代の経済的負担の軽減を図るとともに、許可施設以外への受皿の選択肢も広げる。



おかやま山陽高等学校



令和6年度 議会報告会を開催

会場

- 10月3日 おかやま山陽高等学校
- 10月16日 金光学園高等学校
- 10月29日 岡山県立鴨方高等学校



金光学園高等学校

若者の意見を市政に反映させ、浅口市の魅力向上を図ることを目的とし「高校生との意見交換会」を開催しました。若者の視点から、浅口市が抱える課題や問題点、提案、意見は重要と考えています。議員は各学校に出向き、生徒と議員で構成されたグループの中で、テーマに沿って自由に意見交換をしました。



岡山県立鴨方高等学校

会議テーマは議会が提案し、事前に選んでいただきました。

会議テーマの内容

- 地域の魅力向上と発信
- 持続可能な地域づくり
- 若者の政治参加と地域参画
- 教育・学習環境の革新

最初、お互い緊張の中始まりましたが、どのグループも徐々に打ち解け、それぞれの考えを出し合い交流をしていました。最後には、グループごとに出た意見をまとめ発表し、参加者で共有し終了しま

した。この度の高校生から出た貴重な意見は、提言書を作成し市長へ提出しました。

市長への提言書(12月19日提出)

- 1、若者の就業及び企業誘致の整備について
- 2、若者向けの交流拠点の整備について
- 3、若者の政策形成過程への参画について



市長へ提言書を提出



中学生職場体験



令和6年11月5日に鴨方中学校の生徒2名が、職場体験学習で市議会を訪れました。初めに議長が議会の役割について説明し、市への要望5件を聞き懇談しました。内容は学校内の手すりのさび・水道の増設・駐輪場の改修や店舗撤退後の広い空き地の活用、天草公園にあった壁打ちの復活などでした。

その後、これらを一般質問形式で行うとどうなるのか、議長役を生徒・質問と答弁を議員がする形で体験してもらいました。



二人ともしっかりとした声で、立派な議長でした。

なお、午前中は総務文教常任委員会の5年度一般会計・特別会計決算の認定を傍聴して「難しかったけれど鴨方中学校のことができて親しみが持てた。」と感想を話してくれました。

若い人たちが議会に関心を持って職場体験学習にきてくれ、良い経験になったなら心強くもあり、うれしいことでもありました。

≡ 傍聴へお越しく下さい ≡

傍聴は、議会（定例会・常任委員会など）に触れることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽にお越しください。まず議会事務局で受付を済ませてお入りください。会議中、傍聴者はご自由に出入りできます。会議の詳しい日程は、ホームページ、あさくちメールや防災行政ナビ(ライフビジョン)などでお知らせします。

開催予定

- 総務文教常任委員会 2月4日(火)
- 民生常任委員会 2月5日(水)
- 産業建設常任委員会 2月6日(木)
- 議会運営委員会 2月25日(火)
- 3月定例会 3月4日(火)から



声

の議会だより



目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**浅口はるか会**のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ

☎ 0865-44-7744

今月の表紙写真



鴨方中学校の生徒さんが取組む部活動の写真を掲載しました。

運動部は体力や技術の向上だけでなく、いろんなことが学べる場です。

みなさん、目標に向かって日々練習に励んでいます。